

年頭のごあいさつ

南部町長 佐野和広

新年明けましておめでとうございます。新しい年に当たり町民の皆様には気持ち新たに正月を迎えられた事と存じます。

昨年を振り返りますと北朝鮮によるたび重なるミサイル発射・核実験に世界中が振り回された一年であったと思います。今、なおその脅威を拭い去ることはできませんが、一日も早く有効な手立てが講じられることを願っております。

国内では10月に衆院選が行われ、当初は安倍内閣の存続が危惧されておりましたが、蓋を開けて見れば野党の足並みの乱れから自公連立政権の圧勝でありました。今後は選挙中に掲げた公約を着実に履行し、国民の期待に応えていただきたいと思っております。さて、これから町政について述べます。

一年を通しますと皆様にお伝えしたいことは山ほどありますが、限られた紙面の中ですから主だった施策についてお話しします。始めに町の活性化への起爆剤となる道の駅「なんぶ」ですが、3月末までには建屋が完成します。オープン時期につきましては指定管理者との話し合いにもよりますが、町としては7月頃までにはと考えております。次に町外からの転入者を迎え入れる為の「お試し住宅」が、こちらも3月末には完成します。都内での移住希望者との面談でも受け入れ体制がない為にこれまで残念な思いをしてきましたが、これを機に本格的な移住対策に取り組んでまいります。

それから、永年の懸案でありました峡南衛生

生組合への参入が正式に認可され4月1日より峡南衛生組合南部支所としてスタートします。その移行に伴う内容につきましては、今後、町の広報誌でお知らせ致します。

続いて、中野町有地への企業誘致でありますが、今月中には正式な企業名を公表できると思います。さらにコンビニエンスストアの outlet もありますので、中野地区は様変わりすると思います。次に子育て、教育についても言及します。今月から睦合保育所、栄保育所の統合についての話し合いをスタートします。これからの子供たちの人数を考えた時に、より良い子育て環境を整えなければなりません。保護者・地域住民との十分な話し合いを持ちながら、併せて町の考えも明示しながら方向性を定めたいと考えております。続いて、小学校の統合についてですが、平成27年12月に小学校適正規模等検討委員会より教育委員会に対して、「富河小学校と万沢小学校については、地域住民の理解を得たうえで統合を推進するのが望ましい」との答申がなされ、平成28年3月には私に具申書が手渡されました。私としては統合は大変大きな問題でありますから決断を下すまでにはできる限りの方策を探るという姿勢のもとに、教育委員会に対して、他県、県内の事例を参考にしながら、N授業（同学年の交流授業）合同修学旅行の実施等を提案し、様子を觀察してまいりました。そして昨年は、教育委員会主催による「教育懇談会」が何度となく開催され住民の皆様の意向が

提示されました。いろんなご意見がありましたが、私としては熟慮に熟慮を重ねた結果、子供達にとつて「教育環境を適正な規模にすることが一番重要である」という結論に達し、具申書に示された年度よりも一年前倒しをして、平成32年4月に富河小学校に統合するという決断に至りました。なお、これからは統合準備委員会を設置し、校名や校歌、通学方法等について速やかに進めてまいります。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

次に水道料金値上げについてお話しします。12月の一般質問にもありましたが本町の水道管は老朽化が激しく、耐用年数を考えた時に、いつ、何時破裂してもおかしくない状況です。これまでは町の一般会計から繰り入れをして何とかしのいできましたが、このままの状況が続きますと町民からの他の多くの要望に応えられません。県内、近隣の町と比べても安価でありますので多少の値上げを断行します。ご理解ください。

それから、町の財産である森林についてですが、現在いくつかの活用策が具体化しつつあります。今年中には目に見えた型で示しできると思います。

ところで、この3月には新南部町誕生から15周年を迎えます。急激な少子化・高齢化により合併当初に比べますと2,000名強の人口減となっておりますが、ここに来まして、これまで地道に進めてきた政策がいよいよ具現化できる状態になってまい

りました。

今年度はこの機会を逃すことなく確かな足跡を残す為の一年としたいと思います。まだまだ言い足りないことはございますが、この辺りで結びたいと思います。

町民の皆様には、引き続き町政への理解ご協力を賜りながら、ご健康にてこの一年を過ごされますことをお祈り申し上げます。私の年頭の挨拶いたします。



旭日単光章受章 稲葉秀男さん

12月14日(木)、山梨県庁にて叙勲伝達式が行われ、南部区にお住いの稲葉秀男さんが旭日単光章を受章されました。

旭日単光章とは、日本の勲章の一つで国家または公共に対して功労のある者に対して授与されます。

稲葉さんは昭和62年4月から旧南部町議会議員を3期(12年)務めこの間副議長も歴任されました。

議員として諸問題に積極的に取り組み、国道52号線の地下道の整備、アルカディアスポーツセンター・文化館の完成においても尽力されました。

また、旧南部町消防団長を2年間務め、町民の安心安全、消防団の模範的な存在であり消防設備の充実にも力を注がれ、行政・町民からの信頼も絶大なものであります。

この度、これらの功績が高く評価されての受賞となりました。
おめでとうございます。



おめでとうございます

山梨県知事表彰を 民生委員・児童委員 の2名が受賞

11月21日(火)、「第65回山梨県社会福祉大会」がコロナー文化ホールで行われ、民生委員・児童委員として12年以上職務に精励し、その功績が特に顕著であると認められた者に贈られる「山梨県知事表彰」を山川忠男さん(内船上区)、佐野実千代さん(富士見区)の2名が受賞されました。



佐野実千代さんと山川忠男さん

近藤正寛氏に 歴史資料室 準備委員を委嘱

教育委員会は、去る12月1日(金)に分庁舎会議室において、南部区の近藤正寛氏に歴史資料室準備委員の委嘱状を交付しました。

近藤氏は、元新聞記者で、現在はフリーのカメラマンとして活躍されています。また、蒙軒学舎を開設した近藤喜則翁の末裔(まつえい)ということもあり、今後は、南部氏と蒙軒学舎の展示室に展示する説明パネルの作成や推敲、また、写真撮影などを担当しながら、すでに委嘱されている4名の委員とともに展示室開設の準備に従事していただきます。



渡辺教育長より委嘱を受ける近藤氏

町政への意見等を いただきました

12月14日(木)、女性団体連絡協議会主催による「町長と語る会」が開催され、約80名の方が参加しました。

佐野町長からは、道の駅、企業誘致、定住対策、小学校の統廃合等について話をされました。

講話後の質疑応答では、日々想っていること、これからの南部町に対しての様々な意見等がありました。

この会では、多くの方にご意見等をいただきましたが、普段も町政に対してご意見等があれば総務課へ御一報いただければと思います。

今後とも町政に対するご理解・ご協力をお願いいたします。



佐野町長の講話

満員御礼 内船歌舞伎定期公演

内船歌舞伎保存会は、12月3日(日)、町文化ホールで「内船歌舞伎」を公演しました。

内船歌舞伎保存会は11月に山梨県文化賞を受賞し、今回の定期公演、1月のやまなし県民文化祭公演に向け、仕事や学校が終わってから練習をしてきました。

今回の公演は、津軽三味線「ハレルヤ」も特別出演し、県内外からも多くの方が来場され内船歌舞伎を堪能していただきました。

今回の演目は、

- ・「子ども三番叟(さんばごころ)」 栄小1年生4名
- ・「津軽三味線(ハレルヤ)」 (特別出演)
- ・「吉例曾我」

南部中学校1年生の皆さん



ハレルヤさんの演奏



伝統芸能を披露しました

※毎年12月の第1日曜日に定期公演を行っています。

- ・「白浪五人男(しらなみごんぼごころ)」 南部警察署員
- ・「絵本太功記十段目」 内船歌舞伎保存会

保育園発表会

12月9日(土)富河保育所、16日(土)睦合・栄保育所の園児による発表会が行われました。

先生や、お友達と練習した成果を発揮し多くの保護者に成長した姿を見ていただきました。



富河保育所



睦合保育所



栄保育所

